

研究のまとめ

研究主任

今年度は、「自ら問いをもち、主体的に取り組む子供の育成を目指して」の研究主題のもと、二つの視点に基づいて研修を行いました。

視点1 「子供の問題意識を高める」

「なんでそうなるのかな?」「どうしてだろう?」という問題意識が高まることで、主体的に学習に取り組むことができます。相手意識をもたせるように授業を進めることや、子供に生活経験とのずれを感じさせる資料を提示すること、視点をもって自分の学習を振り返らせるようにすることで、問題意識を高めながら主体的に学習に取り組むことができるようになりました。



視点2 「子供が自己調整しながら学習を進めることができるようにする」

子供が学習の進め方を自分で選択することで、子供は学習に対して主体的に取り組むことができます。多様な資料を準備したことや、子供たちが相談し合える環境を整えたこと、活動の流れを視覚的に捉えやすくし、見通しをもてるようにしたこと、専門家や地域の方との関わりを仕組んだことで、子供が学習の進め方を自分で選択できるようになりました。



スキー学習

体育主任

1月22日(月)にタカンボースキー場でスキー学習を行いました。講師の先生方から丁寧に指導していただき、子供たちはスキーを楽しみながら技術を向上させることができました。例年は午後のみ開催でしたが、今年度は初の1日開催でした。子供たちはどんぐりの館で昼食のカレーライスを食べ、エネルギーを回復させ午後元気に滑っていました。

スキーを終えた子供たちは、「スキー楽しかった。」「方向転換ができるようになったよ。」と達成感を味わっていました。スキーが上達するようにと一日講師を務めてくださったり、コース整備をしてくださったりした地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、これからもスキーに親しんでほしいと思います。



半日入学

低学年担当

2月2日(金)に半日入学を行いました。1・2年生の子供たちは、年長さんが学校生活への関心を高め、入学への期待をもてるようにするため、12月から交流活動を準備していました。自己紹介や学校クイズ、劇の発表、プレゼント渡し等をお互い楽しみながら交流することができました。

